



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月13日

上場会社名 日本ルツボ株式会社

上場取引所 東

コード番号 5355 URL <http://www.rutsubo.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大久保 正志

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長 (氏名) 坂本 信治

TEL 03-3443-5551

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	5,842	△0.2	256	△9.2	264	△8.6	226	8.9
25年3月期第3四半期	5,855	1.2	283	0.3	289	4.5	208	75.3

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 303百万円 (59.0%) 25年3月期第3四半期 191百万円 (60.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	16.75	—
25年3月期第3四半期	15.38	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
26年3月期第3四半期	9,614	—	3,454	—	35.7	254.18
25年3月期	9,499	—	3,205	—	33.5	235.59

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 3,436百万円 25年3月期 3,185百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,800	1.4	340	8.9	340	△0.5	270	△6.7	19.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	14,090,400 株	25年3月期	14,090,400 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	571,001 株	25年3月期	570,148 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	13,519,987 株	25年3月期3Q	13,520,252 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による大規模な金融緩和や経済対策を背景に円安・株高が進行し、輸出関連産業を中心に企業業績が回復し設備投資や個人消費にも改善傾向が見られるなど、緩やかながら回復基調で推移いたしました。しかしながら、中国及び新興国経済の減速、円安に伴う原材料価格の上昇、電力料金の値上げ等の影響もあり、先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループを取り巻く関連業界におきましては、主要取引先である自動車関連産業は円安に伴い海外での生産・販売は好調に推移しております。しかし、国内では生産台数回復の足取りは鈍く、依然として厳しい状況が続いております。

鉄鋼産業は、鋼材市況の軟化の影響もあり輸出の伸びは鈍っているものの、国内の建設関連産業や自動車関連産業向け需要の増加により粗鋼生産量は改善傾向にあります。

このような状況のなか、当社グループは営業と技術が一体となり、主力製品及び新製品の拡販活動を積極的に推進するとともに、生産性の向上や経費削減に積極的に取り組んでまいりました。しかしながら、自動車関連産業の回復が鈍く、当第3四半期連結累計期間の売上高は58億4千2百万円（前年同四半期比0.2%減）となりました。利益面では、円安に伴う原料価格の上昇の影響が大きく、営業利益は2億5千6百万円（前年同四半期比9.2%減）、経常利益も2億6千4百万円（前年同四半期比8.6%減）と前年同四半期比減益となりました。四半期純利益は非連結子会社の吸収合併に伴う抱合せ株式消滅差益の計上により2億2千6百万円（前年同四半期比8.9%増）となりました。

## ①事業の分野別業績

鑄造市場向けでは、自動車の国内生産台数の回復が鈍く、売上高は30億5千3百万円（売上高比率52.3%）と前年同四半期比9.1%減少いたしました。

鉄鋼市場向けでは、シェアの維持・拡大に努めましたものの、前年の大型工事の影響もあり、売上高は10億3千3百万円（売上高比率17.7%）と前年同四半期比3.9%減少いたしました。

溶解炉・環境関連市場向けでは、製品受注や炉修工事が増加したことにより、売上高は11億2百万円（売上高比率18.9%）と前年同四半期比25.2%増加いたしました。

海外市場向けでは、中国および東南アジア向けの販売が増加したことにより、売上高は4億円（売上高比率6.8%）と前年同四半期比7.0%増加いたしました。

不動産事業では、3月より売電を開始いたしました太陽光発電事業が当初予想を上回る発電量となったことにより、売上高は2億5千4百万円（売上高比率4.3%）と前年同四半期比51.2%増加いたしました。

## ②事業の種類別セグメントの業績

種類別セグメント別の売上高は、耐火物等事業が43億9千1百万円（売上高比率75.1%）と前年同四半期比6.4%減少し、営業利益は3億2千4百万円となりました。溶解炉・環境関連市場向けのエンジニアリング事業は12億6百万円（売上高比率20.6%）と前年同四半期比19.4%増加し、営業利益は1億2千2百万円となりました。不動産事業は2億5千4百万円（売上高比率4.3%）と前年同四半期比51.2%増加し、営業利益は1億2千万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末比6千万円（1.0%）減少し、60億2百万円となりました。主なものは、受取手形及び売掛金の減少によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末比1億7千5百万円（5.1%）増加し、36億1千2百万円となりました。主なものは、リース資産の増加及び投資有価証券の時価が増加したことによるものです。

これにより、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、全体で前連結会計年度末比1億1千5百万円（1.2%）増加し、96億1千4百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末比1億9百万円（2.6%）減少し、40億3千2百万円となりました。主なものは、短期借入金の減少によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末比2千5百万円（1.2%）減少し、21億2千9百万円となりました。主なものは、長期借入金の減少とリース債務が増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比2億4千9百万円（7.8%）増加し、34億5千4百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は35.7%（前連結会計年度末は33.5%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）につきましては、平成25年10月31日に公表した通期連結業績予想から修正を行っております。詳細につきましては、本日（平成26年2月13日）発表いたしました「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## [通期連結業績予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	7,950	300	300	230	17 01
今回修正予想（B）	7,800	340	340	270	19 97
増減額（B－A）	△150	40	40	40	—
増減率（％）	△1.9	13.3	13.3	17.4	—
前期実績	7,695	312	342	289	21 40

(参考)

## [通期個別業績予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	7,500	210	180	180	13 31
今回修正予想（B）	7,400	250	240	210	15 53
増減額（B－A）	△100	40	60	30	—
増減率（％）	△1.3	19.0	33.3	16.7	—
前期実績	7,331	222	226	157	11 61

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。